

● “雲雀丘SSあり方検討についてのアンケート結果”を受けての今後の取組について
(宝塚市作成資料)

この度は、地域アンケートの実施と集計等にご尽力賜りましたこと、深く御礼申し上げます。

市として、アンケート結果を分析したところでのポイントや、これに対する今後の取組方針等を以下にお示しいたします。

分析ポイント①

- ・現役世代中心に、デジタル化など市の方針についておおむね理解は得られている。
- ・一方、高齢者など中心に、窓口拠点廃止やデジタル化に対して不安を持っている層は一定数いる。

【現状報告・取組方針】

(デジタル化検討について)

- ・地域説明会等でお示したとおり、『①オンライン手続拡充・②リモート窓口・③移動窓口』の3タイプの検討を引き続き行っていきます。
- ・デジタル化検討の課題としては、システム構築等の投資経費の予算確保と、令和7年度末までに予定している自治体システム標準化対応の進捗の遅れによる影響などが挙げられます。

(SCSSマニュアルの作成について)

- ・デジタル化の本格的な検討に備え、まずは現在の窓口業務をマニュアル化しようと、本年7月に有志チームによる作業を開始しました。現状、2割程度の作業進捗となっています。

(デジタル化以外の対応)

- ・前回の運営委員会において、地域公共交通システムの整備などによる対応もご提案いただきましたので、デジタル化以外の手法も交えながら、ご不安の解消に努めていきます。

分析ポイント②

- ・施設利活用に関する地域ニーズを踏まえると、「防災拠点」「地域活動拠点」「こどもの居場所」「図書館」など公共性の高いものが大半である。
- ・少数意見としては、民間事業者等による運営を望む声もある。

【取組方針】

(施設利活用検討について)

- ・施設利活用に関する地域ニーズを踏まえ、庁内の関連部署との調整を図り、実現可能性を検討していきます。
- ・利活用を検討する床の範囲について、これまではSS部分の床のみで検討する方針を持っていましたが、地域ニーズを踏まえると単体での利活用検討は限界があるため、地域利用施設部分なども含め、複合施設全体での検討も視野に入れます。
- ・運営主体についても、施設全体で一本化していくことが望ましいと考えています。これを担う運営主体については、地域の皆様のご意見等もいただきながら、検討していきます。

(サウンディング調査について)

- ・当初の予定どおり調査を実施するつもりであり、実施時期や手法を検討しています。

分析ポイント③

・雲雀丘SSの周辺地域である長尾台小学校区地域との協議に集中していることに対し、一部厳しいご意見等がある。

【取組方針】

(売布小学校区まちづくり協議会様との協議について)

・アンケート調査結果も受け、本年度後期以降は、売布小学校区まちづくり協議会様との協議を進め、注力していきます。

分析ポイント④

・最適化方針でのSSのあり方検討について、個人によって様々な受け止め方がされている。

【取組方針】

(最適化方針の前期取組期間での結論について)

・これまで、地域説明会等でお示してきたとおり、あり方の検討については、①施設の利活用検討、②窓口サービスのデジタル化検討の進捗度合を計りながら、決定していきたいと考えています。
・決定に当たっては、市内部の幹部会議に諮る必要もあるため、令和8年度中には大筋をお示しできるよう努めます。

その他、ご意見等に対する回答

アンケート結果の分析を踏まえた取組方針等は以上ですが、アンケートでいただきました個別意見等に対する市の見解・回答は、別に一覧にしてお示しさせていただきます。